

平成26年度 関東農政局補助事業評価（再評価・事後評価）技術検討会（第2回）
議事概要

1 開催日時 平成26年12月11日（木）13:30～16:30

場 所 さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用AV会議室504
（埼玉県さいたま市）

3 出席委員 別紙のとおり

4 技術検討会の概要

技術検討会の黒田委員長による議事進行のもと、事業実施主体からの情報提供等を基に作成した農業農村整備事業等再評価地区別資料（案）及び農業農村整備事業等事後評価地区別結果書（案）について農政局より説明した後、質疑応答及び評価内容に関する議論を行った。なお、傍聴者はなかった。

○対象地区

・再評価 3地区

農業競争力強化基盤整備事業（畑地帯担い手支援型）北総中央Ⅰ期地区

農業競争力強化基盤整備事業（経営体育成型）幸江崎地区地区

農村地域防災減災事業 曽我別所地区

・事後評価 8地区

畑地帯総合整備事業 豊里東部地区

畑地帯総合整備事業 御所平埋原地区

畑地帯総合整備事業 三ヶ日東部地区

経営体育成基盤整備事業 板橋大塚地区

農村振興総合整備事業 今川地区

農業集落排水事業 二宮東部地区

中山間地域総合整備事業 泉地区

草地畜産基盤整備事業 茨城南部地区

委員からの主な意見は次のとおり。

○全般

- ・事業計画で算定されていない効果についても、効果の発現が見られる場合には、定性的な評価でも良いので、記載できないか検討していただきたい。

○再評価

- ・北総中央Ⅰ期地区については、総事業費及び年総効果額の表記について、統一した整理とすること。
- ・曽我別所地区については、みかん農家は厳しい状況下であり、事業の早期完了が求められる。

○事後評価

- ・泉地区については、地区内の認定農業者への農地集積面積と集積割合が分かれば、記載していただきたい。
- ・茨城南部地区については、汚水処理施設の整備により、環境への負荷が軽減され環境改善に繋がったと考えられることから、効果算定できるのではないか。

別 紙

平成26年度 関東農政局補助事業評価（再評価）
第2回技術検討会 出席者委員

平成26年12月11日

氏 名	所 属
[技術検討会委員]	
小 倉 久 子	環境パートナーシップちば事業部長
黒 田 久 雄	茨城大学農学部教授
清 水 みゆき	日本大学生物資源科学部教授
中 村 哲 也	共栄大学国際経営学部准教授